

0人に等しい。年齢構成が均衡のとれたものにする必要があると思うがいかがか。団塊の世代を中心とした50歳代の職員64名が大量退職後は、適正な職員配置は可能か。自治体の政策水準は政策力のある職員層の厚さによって決まるといふ。人材の確保育成計画を立てることが大事であると考えるがいかがか。

**高薄町長**  
退職人数と合わせた採用はできないが、平成21年度には一人採用をしていきたい。少ない人数でサービスをしていかなければならないということ。一人ひとりの任務は増加の傾向になっていく。新たな分野が出てきた場合を含



職員不補充が続いている役場  
平成21年度には職員を1名採用予定

め人材育成というものを大切にしていかなければならない。

## 行革で 町民の暮らしは どうなる

**妻鳥公一議員**

町は平成14年から行財政改革を進め今日に至っている。12月に「第二次緊急3か年計画」という行財政改革を発表した。地方自治体の仕事は、住民の暮らしや福祉、教育を守り増進させることにある。この観点から次の3点を伺う。

- ①今日の財政運営の現況について。
- ②行革を進めなければならぬ原因は。
- ③行革による町民の暮らしへの影響。

**高薄町長**

①現況としては、平成23年度で基金が底をつくということから、第二次緊急3か年計画として平成20・21・22年度実施して、基金が浮上するように計画を組んだ。

②根本的な原因は、平成13年以前の国の景気浮揚策による投資的経費事業を安易に取り組んできたこと、更には公共料金に手をつけていなかったのも大きな要因である。

③福祉の部分も十勝管内並みに平準化する。町民の暮らしは大変厳しくなるという認識を強くしている。

## 75歳以上の 方々の保険料

**妻鳥公一議員**

後期高齢者医療制度が来年4月から始まろうとしている。次の3点について伺う。

- ①4月時点での75歳以上の人数。納める保険料の総額。個人保険料の平均額。
- ②保険料滞納者からの保険取り上げについての町長の考え方は。
- ③この制度によって75歳以上の方々の医療はどう変わるのか。

**高薄町長**  
①人数は、11月末現在で1

512人。保険料の総額は1億2753万3745円。平均保険料は、7万4104円となるが、軽減措置があり6万8555円。

②保険料の滞納が1年以上あると取り上げられ、病院で全額負担をしなければならぬ。本当に不合理なことだと思ふ。

③医療は基本的には老人保健制度と同じ。大きく変わるの是对象者の一人ひとりに保険料がかかり、個々によって高くなる可能性もある。

## 今年の 農業収入減は

**妻鳥公一議員**

今年度から品目横断的経営安定対策が実施されている。新聞報道等によると、この品目横断的経営安定対策という制度によって、農業収入が昨年より5〜10%減が見込まれるとある。次の2点について伺う。

①この制度によって清水町の農業・農家に与える影

響を具体的に。  
②今後の対策について。

**高薄町長**

①本町は本年10%から15%ぐらいの収入減になるのではないかと押さえている。

②生産者が意欲をもって営農に取り組む対策というものを、道をはじめとして関係団体とともに、国に要請を強くしていかなければならない。

## 福祉灯油購入費 助成の増額を

**妻鳥公一議員**

町長は、行政報告で福祉灯油事業を行うと述べた。この事業は、今日の暖房用灯油の高騰の中で、高齢者・低所得者に対する施策として高く評価される。しかし、5500円という助成金額は、他の町村と比較しても少ないと思われ。増額の考えはないか。

**高薄町長**

福祉灯油は対象世帯数が極めて多いという状況にある。今の財政状況を鑑

みてこのようにした。

## 町行財政の再生と 町民生活

**荒木篤司議員**

町は、新たに緊急3か年計画を作成して財政改革に取り組むとしているが、住民の生活を無視した役場主体の計画ではないのか。これでは、仮に達成したとして、その時は住民が誰もいない町になってしまうのではないかと思ふがいかがか。

町長は、町民のかまどの煙を見ることなく、いたずらに財政危機を叫び、再建を呼びかけ、大切な住民のための行政の進むべき方向を見失っていると思えてならない。基金残高のみを奪われるのではなく、取捨選択した行政運営を行うべきだと思ふがいかがか。

**高薄町長**

苦しく厳しい生活をしている人に手厚くする努力を重ねているが、行政は公平でなければならぬ